

4 コミュニティ・スクールだより

林田小学校 R6. 4. 8発行

桜の満開をやっと迎えました。チューリップやビオラ、パンジーが学校を彩っています。コミュニティ・スクールも2年目を迎えました。今年度も地域の皆様とともに、子どもたちが元気に学校生活を送れるよう取り組んでいきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

見守りボランティア



見守りボランティアの皆様には、さっそく登下校の見守りをお世話になります。「林田小地域で見守る推進会議」が、子どもたちの安全確保のため地域ぐるみで見守る環境を推進することを目的として、平成17年度に発足されて以来今日まで20年間の長い間、変わらず見守りボランティアとして子どもたちの安全を見守ってくださっています。見守りボランティアさんが毎日見守ってくださることは当たり前のことではありません。この毎日の積み重ねの支援を受ける学校はその思いをきちんと受け止めていかなくてははいけない、と思っています。今の時期大変なことと思ひますので、ご無理のないところでお願いします。



読み聞かせボランティアみんみずく

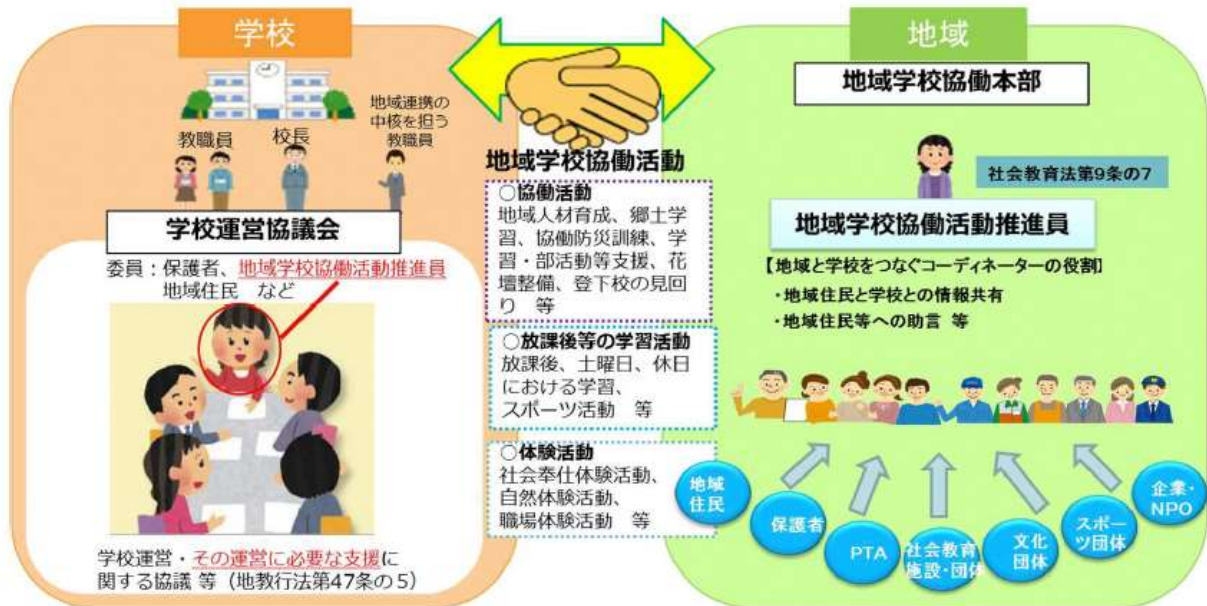


毎週水曜日、朝8時25分から40分までは「みんみずくタイム」。1年生から3年生まで5クラス（今年度は1年生が1クラスです）で、読み聞かせをしていただいています。林田小学校の読み聞かせ活動は17年度から保護者さんを中心に始まりました。この活動は今年度で20年目を迎えることとなります。20年という長い年月を変わることなく続けてくださっていること、大きな感謝です。今年度は総勢10名のメンバーさんにお世話になります。林田小の読み聞かせの大きな特徴は、読み聞かせをする本は各自で選んでくださっていること、月ごとに当番が替わることです。年に5回ほど当番の打ち合わせ会をして、担当のクラスを決めています。情報交換というはっきりした時間をとっているわけではありませんが、読み聞かせが終わった後の朝のひとときに、メンバーさんがそのときそのときの感想・感動を伝え合い、よい交流が生まれています。ボランティアさんたちはそれぞれにたくさんのポケットを持っておられて、いろいろな本を読んでくださいます。そして読んでくださった本から、子どもたちがたくさんの本の扉を開いていってくれることを願ってくださっています。

林田小学校は、以前から地域の方の協力を得ながら学校運営や教育活動を行ってまいりましたが、平成20年度には学校支援地域本部事業の指定を受け、さらに昨年度からコミュニティ・スクールに移行し、活動の充実を図っております。林田小学校の子どもたちのよりよい育ちや学びの環境作りのために、地域の方々の力をボランティアというかたちで提供していただき、学校の様々な活動を支援して下さるといふものです。地域学校協働活動推進員は、学校からの要望により、地域のボランティア登録者の方へ依頼内容を伝え、連絡調整を行い「ボランティア（地域）と学校をつなぐ」役割をしています。この事業の活動を積み重ねることで、子どもたちとボランティア、先生とボランティア、ボランティア同士がつながり、信頼関係ができ、よりよい教育環境をつくることにつながっていくものと思っています。「子どもたちがたくさんの人に見守られて育つこと」の大切さを心にとめて、今年度ひとつでも新しい支援に取り組みめるよう活動していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

学校と地域の効果的な連携・協働と社会教育法の改正について

学校運営協議会の仕組みを生かして学校と地域の効果的な連携・協働を推進していくためには、より多くのより幅広い層の地域住民団体、団体等が参画し、緩やかなネットワークを形成する「**地域学校協働本部**」と**双方が機能することが重要**です。**地域学校協働活動推進員が学校運営協議会の委員になること**で、学校と地域が目標やビジョンをしっかりと共有した上で、効果的に地域学校協働活動を実施することが可能になるとともに、学校と地域が「**一体的**」に取り組む推進体制を構築することができます。



「できることを、できるときに、できるところから」

ボランティアをしてみようかな・・・と思ったら学校までご連絡ください。「無理をしないのでできること」にご協力いただければと思います。

連絡先：林田小学校 電話22-2764

（担当：教頭 江見、地域学校協働活動推進員 原田）

林田小学校学校支援地域本部

地域学校協働活動推進員 原田雅子

